

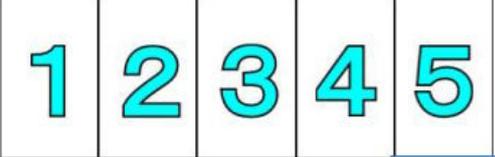
教材教具名 時計読み取りプリント	教科 (数学)	
------------------	-----------	--

教材教具写真

にん らんたろう ゆうがた
忍たま乱太郎は、夕方

なんじ はじ
何時から始まりますか？





□じ □ぶん
時 分 からです。

教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

時計の針を読みとることををねらいとした昨年度の取り組みを進め、生徒の好きなテレビ番組の開始時間を針の色や数字による支援を加えることで、時計の読み取りに向けての生徒の興味、関心を引き出す手立てとした。

まずはじめにそれぞれの生徒の好きな番組のキャラクターカードを準備し、生徒の実態に応じて、そのカードとそれに対応する1～60までの数字カードをホワイトボードに貼り、数唱・順序数等の学習を繰り返し行った。その後で、それぞれの生徒の好きな番組の開始時間に合わせたプリントを順番に前に貼り、教師や他の生徒の支援を受けながら〇時〇分の時間を貼ったり、書き込んだりする学習に取り組んだ。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

実態差があるなかで、どの生徒も自分の番には自信を持って取り組める課題から取り組みを始めたこともあり、グループ内での実態差が大きいにもかかわらず、多くの生徒が興味、関心を持って取り組むことができた。また、少し高めの課題に悩む生徒にヒントを出したり、自分が代わって記入したりする場面が回を追うごとに見られるようになり、「時計を読み取る」という学習活動をきっかけにして、学習集団としての集団意識形成にもプラスの効果がみられた。